

生活と文化

選 択

開講年次：2年次後期

科目区分：講 義

単 位：2 単位

講義時間：30 時間

■**科目のねらい**：本講義では、人とその社会から生み出されてきた生活や文化の諸相に注目しながら、今後の社会のあり方について論じてゆく。人は一人きりで生きているのではなく、自然や社会、そして長い時間をかけて醸成されてきた地域の文化や風習、歴史とともに生きている。自分たちを包み込んでいる、これらの“見えないもの”の存在を理解し受容することにより、私たちは心の安寧を保ち、豊かな心を育むことができるだろう。本講義は、毎回提出を求めるミニツツペーパー等により、率直な発言を導き出しながら、主体的な思考力を養うことを狙いとする。

■**到達目標**：①多様な生活や文化の諸相に対する好奇心と理解力を養う。
②豊かな人間観や生活観を養う。
③社会的活動や地域活動に対する理解と積極的な参画姿勢を育む。

■**担当教員**：

蓮見 孝

■**授業計画・内容**：

- 第 1 回 宿命と祈り：愛猫の死に向き合う
- 第 2 回 3つの宿命：G・T・M
- 第 3 回 Tの宿命と表現文化：病院アート
- 第 4 回 Gの宿命と表現文化：建築様式
- 第 5 回 生き抜く力としての食文化：マルゲリータ女王のピッツァ
- 第 6 回 食の文化性「設え」：小津安二郎監督「お茶漬の味」の鑑賞
- 第 7 回 時空を超えるイサム・ノグチの遺言：モエレ沼公園
- 第 8 回 日常生活に潜む演劇性
- 第 9 回 高度消費社会の功罪と演劇性の復権
- 第10回 C・チャップリン監督「モダンタイムス」の鑑賞
- 第11回 現代社会の規範：「冷たい社会」と「熱い社会」
- 第12回 新たな時代を拓く萌芽的事象：地域文化力への期待
- 第13回 ポスト“熱い社会”の概念
- 第14回 酒蔵再生プロジェクト
- 第15回 自律協働社会の生活と文化

■**教科書**：教科書は使用しない。板書をするので、ノートをとること。

■**参考文献**：蓮見孝『マルゲリータ女王のピッツァーかたちの発想論』筑波出版会 1997年
蓮見孝『地域再生プロデュースー参画型デザインの実践と効果』文真堂 2009年
長谷川宏司編『多次元のコミュニケーション』大学教育出版 2006年
筑波大学感性認知脳科学研究プロジェクト編『感性認知脳科学への招待』筑波大学出版会 2013年

■**成績評価基準と方法**：レポート（50%）、ミニツツペーパーと出席状況（30%）、授業態度（20%）で総合的に評価する。

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
レポート	◎	◎	◎	講義内容の理解度、主体的思考力、資料収集への積極性等によって評価する。	50
ミニツツペーパー	○	○	○	講義内容の理解度、好奇心を、内容から判断する。	30
授業態度				ディスカッションへの参加度合いと出席状況を合わせて評価する。	20
発表					
作品					
出席				6回以上の欠席は不可	
その他					

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：理屈で理解しようとせず、好奇心をもって素直にテーマと向き合ってみよう。講義を受けた上で、自分なりの視点・論点を考えて見よう。